

「うた」を愛し、学ぶ人がつどう、世界最大規模の声楽・ミュージカルコンクール



2026年

第6回 国際声楽コンクール東京®

6th International Vocal Competition TOKYO

開催する部門（全18部門）

声楽専攻	(c01) グランプリ部門（満21歳以上40歳以下）、(c02) 歌曲部門（満21歳以上）、(c04) 声楽ジュニア部門（満10歳以上14歳以下） (c05) 声楽高校1/2年生部門、(c06) 声楽高校3年/卒業生部門、(c07) 声楽大学生部門、(c08) 新進声楽家部門（満20歳以上27歳以下）
ミュージカル	(m03) ミュージカル部門（満10歳以上）、(m09) ミュージカル小学生部門、(m10) ミュージカル中学生部門、(m11) ミュージカル高校生部門
愛好者	(a12) ミュージカル愛好者部門（満31歳以上）、(a13) 声楽愛好者上級部門（満21歳以上）、 (a14) 声楽愛好者A部門（満31歳以上60歳以下）、(a15) 声楽愛好者B部門（満61歳以上73歳以下）、(a16) 愛好者オメガ部門（満74歳以上）
重唱 / 室内合唱	(e17) 重唱部門（満12歳以上）、(e18) 室内合唱部門（満12歳以上）

※ 年齢算出の基準日は2026年4月1日とする。

※ 各部門の演奏課題は公式ホームページ参照の事。

地区大会 開催日程

8月11日	北広島市	北広島市芸術文化ホール	共同主催：国際声楽コンクール東京 / 北海道北広島支部 後援：北海道教育委員会、北広島市教育委員会、北海道新聞社	7月21日	金沢市	金沢市アートホール	後援：金沢市教育委員会、北國新聞社
8月18日	盛岡市	盛岡市民文化ホール	後援：岩手県、岩手日報社	7月19日	名古屋市	熱田文化小劇場	後援：名古屋市教育委員会、中日新聞社
7月20日	仙台市	宮城野区文化センター	後援：宮城県教育委員会、河北新報社	8月9日	岐阜市	サラムンカホール	後援：岐阜県教育委員会、中日新聞社
7月21日	仙台市	宮城野区文化センター	後援：宮城県教育委員会、河北新報社	8月28日	名古屋市	緑文化小劇場	後援：名古屋市教育委員会、中日新聞社
8月17日	名取市	名取市文化会館	後援：宮城県教育委員会、河北新報社	6月20日	東大阪市	東大阪市文化創造館	後援：大阪府教育委員会
6月28日	宇都宮市	栃木県総合文化センター	後援：宇都宮市、宇都宮市教育委員会、下野新聞社	7月20日	寝屋川市	アルカスホール	後援：大阪府教育委員会
7月5日	つくば市	ノバホール		8月8日	堺市	フェニーチェ堺	共同主催：堺シテリオバレー一般社団法人 後援：大阪府教育委員会
7月19日	高崎市	高崎芸術劇場	後援：上毛新聞社	8月23日	京都市	京都堀川音楽高校・音楽ホール	後援：京都府教育委員会
6月27日	清瀬市	清瀬けやきホール	共同主催：国際声楽コンクール東京 / 清瀬支部	8月29日	伊丹市	伊丹アイフォニックホール	共同主催：国際声楽コンクール東京 / 伊丹支部 後援：兵庫県教育委員会
7月18日	市川市	市川市文化会館	共同主催：国際声楽コンクール東京 / 市川支部	7月27日	相生市	扶桑電通なぎさホール	後援：兵庫県教育委員会
7月26日	小金井市	小金井宮地楽器ホール	共同主催：国際声楽コンクール東京 / 小金井支部	7月26日	広島市	安芸区民文化センター	後援：広島県教育委員会、中国新聞社
8月2日	柏市	アミュゼ柏		8月30日	松江市	さんびる文化センター	後援：島根県教育委員会、山陰中央新報社
8月10日	横浜市	みなとみらいホール		7月25日	高松市	サンポートホール高松	後援：香川県教育委員会
8月16日	品川区	五反田文化センター		7月28日	福岡市	東市民センター	
8月19日	川口市	川口総合文化センター・リリア	後援：埼玉県教育委員会	7月29日	福岡市	東市民センター	
8月30日	小金井市	小金井宮地楽器ホール	共同主催：国際声楽コンクール東京 / 小金井支部	8月17日	熊本市	くまもと森都心プラザ	後援：熊本県教育委員会、熊本日日新聞社
9月7日	清瀬市	清瀬けやきホール	共同主催：国際声楽コンクール東京 / 清瀬支部	8月31日	大分市	iichiko 音の泉ホール	後援：大分県教育委員会、大分合同新聞社
7月4日	静岡市	静岡音楽館 AOI		7月12日	那覇市	那覇文化芸術劇場なはーと	後援：沖縄県教育委員会、琉球新報社、沖縄タイムス社
8月25日	甲府市	YCC 県民文化ホール	後援：山梨日日新聞社、山梨放送	6月13日	ソウル市	Rode Arts Center	
8月5日	塩尻市	塩尻市文化会館レザンホール	後援：長野県教育委員会、信濃毎日新聞社				

東日本准本選：9/24～10/26 | 西日本准本選：9/19～10/18 | 韓国准本選：6/14 | 本選：10/29～12/14

締め切り期日や審査員などの詳細は公式ホームページ参照の事。

特別協賛



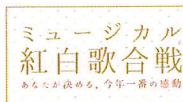
ドレミ楽譜出版社賞

《ドイツオペラアリア名曲集》他2冊のうちいずれかを、声楽専攻全7部門とミュージカル専攻全4部門の1-3位に贈呈。



カフェトーク賞

オンライン語学レッスン1年分(1位)、3ヶ月分(2,3位)ほか。カフェトークに登録受験者全員にレッスンポイント贈呈。



ミュージカル紅白賞

ミュージカル部門の男女最高位受賞者にミュージカル紅白歌合戦2026への出場権を提供。



審査員



審査委員長
川上 洋司
東京藝術大学名誉教授



コンクール代表
審査委員長代行
田辺とおる
北ハルツ劇場(ドイツ)
元専属歌手



コンクール代表代行
審査副委員長
小畑 朱実
武蔵野音楽大学教授



審査副委員長
小濱 妙美
京都市立芸術大学
特任教授・名誉教授



審査副委員長
山口 道子
武蔵野音楽大学教授



審査副委員長
田中 由也
大阪音楽大学教授、
関西歌劇団副理事長



審査副委員長
武田 正雄
東京音楽大学講師
日本声楽家協会講師



審査副委員長
松田 昌恵
大阪音楽大学教授



審査副委員長
ミュージカル担当
楓 八州子
アーティストスクール
風音舎主宰



審査副委員長
ミュージカル担当
信太 美奈
桐朋学園芸術短期大学
特別招聘教授
昭和音楽大学講師

本選審査員(日別担当)

声楽	羽山弘子, 羽山晃生, 臼木あい, 岡崎智恵子, 行天祥晃, 手嶋眞佐子, 上杉清仁, 上田武夫, 森 雅史, 森永朝子, 森川栄子, 成田博之, 大勝秀也, 池田卓夫, 中島郁子, 樋口達哉, 武藤直美, 服部容子, 牧口純子, 野田ヒロ子, 廣田美穂, 高田正人, チェ・サンホ, ヨスア・パルチュ
ミュージカル	やまもとかよ, 阿川建一郎, 佐橋美起, 松岡美桔, 秦 貴美子, 赤星啓子, 村田佳子, 和田哲監, パク・トンハ

※ 地区大会・准本選・本選各日の担当審査員は公式ホームページの日程表を参照の事。

賞

声楽専攻 / ミュージカル部門			
	1 位	2 位	3 位
(c01) グランプリ	600,000 円	200,000 円	100,000 円
(m03) ミュージカル	400,000 円	200,000 円	100,000 円
(c02) 歌曲	200,000 円	100,000 円	50,000 円
(c08) 新進声楽家	200,000 円	100,000 円	50,000 円
(c07) 声楽大学生	150,000 円	100,000 円	50,000 円

開催する全部門について、1-3 位はトロフィー、4-5 位・奨励賞には楯を授与する。
地区大会最優秀・優秀賞、准本選金賞、本選入選証、各種副賞などは証書・賞状を授与する。

受験料

	地区大会	准本選	本選
(c01) グランプリ, (c02) 歌曲 (m03) ミュージカル, (c08) 新進声楽家	15,000 円 税込 16,500 円	20,000 円 税込 22,000 円	
(c04) 声楽ジュニア, (c05) 高校 1/2 年生 (c06) 高校 3 年 / 卒業生, (c07) 大学生 (m09) ミュージカル小学生, (m10) 中学生 (m11) 高校生 (e17) 重唱, (e18) 室内合唱	12,000 円 税込 13,200 円	16,000 円 税込 17,600 円	22,000 円 税込 24,200 円
(a12)~(a16) 愛好者全部門	22,000 円 税込 24,200 円	25,000 円 税込 27,500 円	
ソウル地区大会受験者 (地区大会 / 准本選合計額)	25,000 円		

※ 事務手続き料 500 円(+税)が、申込ごとに加算される。

※ シニアサポートを希望する方は、事務手続き料 2,000 円(+税)が、申込ごとに加算される。

当コンクールの主な特徴

申し込みについて

【受験料免除】 当会および他社のコンクール実績によって地区大会を免除します(資格条件は各部門要項を参照)。

【複数回受験】 地区大会・准本選は、同部門・異部門を問わず、複数回受験できます(同日でも別日程でも可)。理由は不問(不合格や欠席の再受験、曲目変更、2 曲演奏希望など)。

【地区大会の早期日程特典】 早期日程の地区大会で合格した方には、准本選申込締切までの期間を長くします。

【准本選の会場は自由選択】 地区大会免除者および地区大会合格者は、東日本 / 西日本准本選、韓国准本選を自由に選択できます。

【締切を超過した申し込みの救済措置】 締切を過ぎてしまったが受験を希望するという方には、事務局の処理が時間的に間に合う場合のみ、受験料増額を条件として受け付けます。

【シニアサポート】 愛好者 B / オメガ部門を受験する方に限り、インターネットから申し込むことが困難な場合は、手書きの申込書を事務局で入力するサービスがあります。

審査についての特徴

【審査員による個人講評会】 地区大会では記述式の審査員講評を配布します。准本選と本選では、結果発表後にホール客席にて、審査員が個々の受験生に講評を話す懇談の機会を設けます。

【表彰式後のレセプション】 (c01) グランプリ部門と (m03) ミュージカル部門本選は、通常のホール客席における講評会ではなく、レセプションを開催してグラスを交わしながら審査員と受験者が懇談する機会を設けます。

【得点公開】 准本選と本選は、全審査員の個別採点・合計点・平均点・順位の全てを公開します。

演奏について

【曲目重複】 地区大会の演奏曲は、准本選または本選で再演することができます。

【制限時間】 超過した場合でも演奏は止めず、30 秒までの超過は減点無しとします。

【本選プログラムの拡大】 同じ部門で受験番号を複数所持し、准本選で 2 回以上合格した場合、本選も 2 人分申し込むことができます。本選では出番を連続させて「1 人による長い演奏区分」として出場し、採点は 1 人分として扱います。

【舞台上で声出し】 開演前と休憩時間中は舞台を開放し、受験者が自由に声出しできる機会を提供します。

【当日舞台リハーサル】 大会時間割に余裕がある場合は、開演前に舞台リハーサルの機会を設けます(該当する大会では申込締切後に案内します)。

【公式伴奏者】 一部地区大会および准本選と本選の全日程に、経験豊かな公式伴奏者を用意します。

その他

【審査員へのレッスン希望】 受験者が審査員のレッスンを希望する場合は、コンクール事務局が仲介して初回レッスンの段取りをつけます(仲介料は取りません)。大会会場などで直接審査員と約束することは、トラブルの原因となるため禁止します。

【ミュージカル重唱部分などの指針】 過去年度の演奏曲に対して、上位ラウンド審査員によるカット・編曲提案などの一覧を公開しました。

※ 公式ホームページに注意事項の全文が掲載されているので、必ず参照する事。

要項詳細・応募

<https://ivctokyo.com>

最新の情報は公式ホームページをご確認ください。



公式 SNS

Q 国際声楽コンクール東京

最新情報を発信しています。

